

(4)西棟 VTR-D 号機チラー水系統の洗浄作業で漏洩

1)トラブルの状況

(3) のとおり、定検工事で VTR-D 号機のチラー水に抽出溶媒の混入が発見されたので、10月17日(金曜日)チラー水タンクの洗浄を行う目的で洗浄水を張り込み13時00分から15時00分までポンプを運転しました。一旦停止した後、15時30分ごろ再びポンプを起動させたところ、仮設のブレードホース接続部分が継手(タケノコ)から抜け、洗浄水が60Lほど下部のオイルパンに漏れたものです。

2)処置

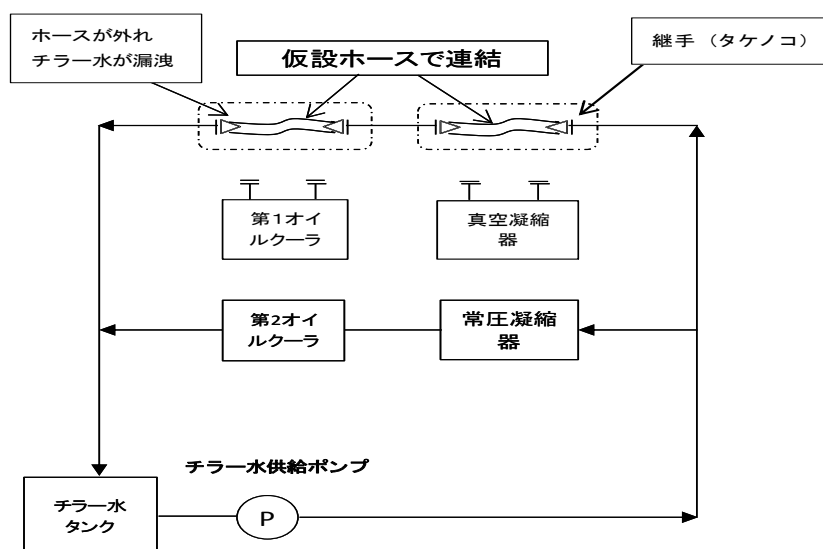
直ちにチラー水供給ポンプを停止し、オイルパンに溜まった洗浄水を回収しました。

3)原因

第1オイルクーラー(E-3358D)及び真空凝縮器(E-3360D)をバイパスさせる目的でブレードホースを敷設したものです。両熱交の接続部は間隔が狭く且つ直角に曲がる構造であったので、ポンプを起動した時の水圧でホースが抜けたものです。

4)対策

ブレードホースと継手(タケノコ)の固定はホースバンド2個で固定するように変更しました。



E-3358D(第1オイルクーラー)



E-3360D(真空凝縮器)